

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第176号(2016.11.17発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までご連絡ください。

【過去の CP 通信をご覧ください】: [http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp\\_magazine.html](http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp_magazine.html)

**CP/CS3 学期の受講生募集中！**

【目次】

- ・巻頭言……広島経済大学 経済学部  
経営学科 教授 糠谷 英輝
- ・2 学期の CP 授業風景 第3弾
  - CP 月曜日 『財務会計の基礎』
  - CP 月曜日 『マーケティングの基礎』
  - CP 水曜日 『確率・統計の基礎』
- ・3 学期 CP 講座ラインナップ
- ・3 学期 キャリアアップ・プログラム 木曜日シラバスの紹介  
【木曜日開講予定】 ケースメソッドで鍛える経営構想力
- ・ひろしまカレッジ『大学で開講する公開講座』募集中！！
- ・経大見聞録
- ・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

経営学科

教授 糠谷 英輝

2 学期 CP 講師『東南アジアの資本市場』

荷物と国際会議

今期の CP では「東南アジアの資本市場」を担当しており、大学の講義でも担当科目に「証券市場論」が入っている。

資本市場、とりわけ株式市場が専門分野のひとつとなっている。しかし好きでというか、関心を持って研究した結果、株式市場が専門分野のひとつになったわけではない。実業界出身なので、専門分野があるようでないという感じで、外圧で専門になってしまったというところが大きい。

株式の場合、アジア開発銀行の中尾総裁が財務省におられた頃、アジアは債券市場に加えて、株式市場も知っておかないといけないとの方針で、アジア株式市場の調査が廻りまわってきたことに起因する。

そしてこのことが身の程知らずの国際会議への出席を引き起こしていく。株式市場となると、どうしてもこの記憶が蘇ってくるのだ。その国際会議とは、ABAC(APECビジネス諮問委員会)で、APEC(アジア太平洋経済協力)首脳へ民間サイドから諮問を行う公式団体となっている。ベトナムのダナンで開催された ABAC 会合で、アジア株式市場の育成に関する報告を行うことになったのだ。

これは荷が重いなあということで、なんとか辞退させてもらおうとしたのだが、当時の上司が「君のためだから」と申し入れてきた。「君のためだから」というのはうまい言葉で、それは分かっているのだが、それでも嫌だなあと思いつつも、なかなか断り難い。機会があったら自分も使おうと思っているのだが、残念ながら、今までそういった機会は訪れていない。

さてしょうがなく ABAC 会合に出発した。日本からダナンへの直行便はなかったので、ハノイ経由となった。ハノイのノイバイ空港に到着し、入国すると、ABAC 会合の誘導員が待ち構えており、花がたくさん付いたレイを首にかけられた。ハワイのようだが、これが恥ずかしい。レイをかけたまま国内線のターミナルまで誘導されたのだが、チェックインのところで、誘導員は去っていき、一人レイをかけたまま出発という、余計に恥ずかしい思いをした。取り敢えず首からは外したが、捨てるわけにもいかないし、大きいし、邪魔になるだけで、そのままホテルまで持っていくことになった。因みにその時、ハノイに着いたのは自分だけで、他の参加者はホーチミン経由だったのだ。一人だけレイというのは極めて恥ずかしい。

翌日の夜にベトナム政府主催の歓迎会があり、その翌日に発表を行うことになっていた。もちろん事前に報告ペーパーが各国に配布されており、当日はそれを読めばいいのだろうという気でいた。ところが夜の歓迎会の際、日本の事務局から耳打ちされた。「実は米国が納得しておらず、会合で言いたいことがあると言って来た。適当に回答しておいて。」とのこと。何も状況が分からないものにそんなことを振っていいのか？ どうすればいいのか？ そもそも米国はどこに文句を付けてきたのか？ 全く分からないまま、不安だけが募り、悶々と夜を過ごした。どうなっても知らないものねと、開き直るしかない。でもそれで大丈夫なのかと、不安は拭い切れない。そんな気分のままで報告の時間がやってきた。

報告を終えて、議長が質問や意見を求めると、一人が勢よく挙手をした。「ついに来たぞ、来たぞ。何を言ってくるのだ。確かに見た目は米国人のようだ。」だったのだが、なんとペーパーで使った統計資料をどこから取ったのかという質問だった。しかも米国ではなく、パプア・ニューギニア。そして発言はそれだけ。心配していた米国からの発言はなかったのだ。終了後、事務局にどのように回答すればいいのか、そもそもパプア・ニューギニアということしか知らないし、連絡先等も分からない。すると、また言ってきたらでいいですよとのことで、結局、回答はしていない。

まあそれでもホッとしてホテルの部屋に戻ると、ベッドの上に記念品が置かれていた。それは大きめの神像で、アンコール遺跡にあるような感じのものだった。記念品はいいが、大き過ぎないか。神像だから捨てる訳にもいかないし。行きはレイで、帰りは神像。肝心の国際会議では要らぬ不安を掻き立てられた。

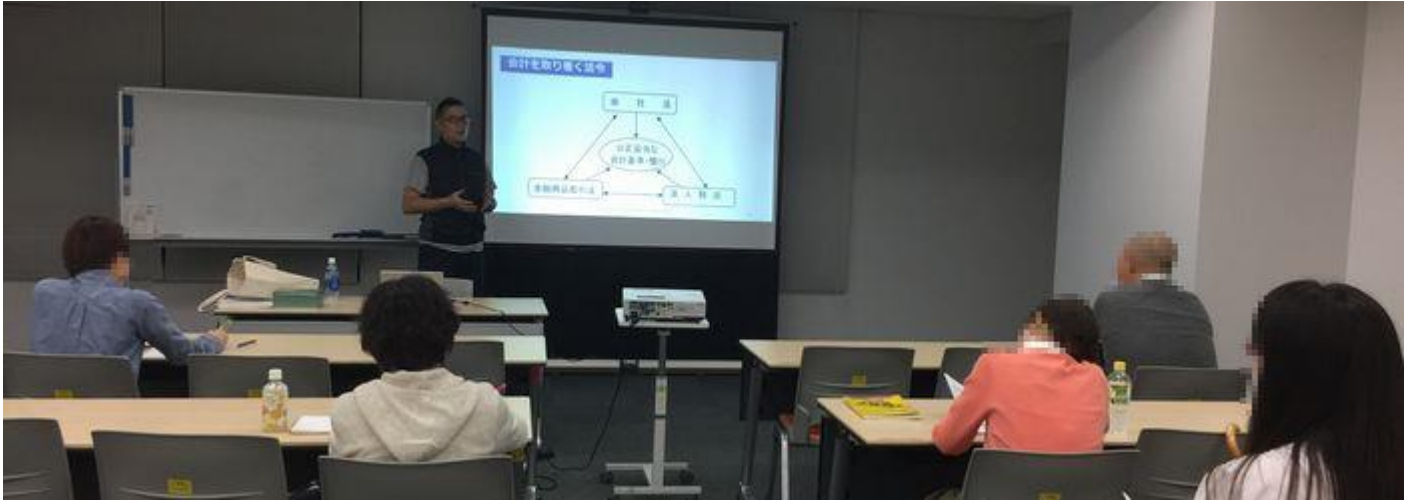
その神像は捨てていないので、おそらく広島に持ってきたのだろうが、今、現在、行方不明。家のどこかで守ってくれているのか、そのうち罰が当たるのか。どうもアジア経済に関わらないといけないという状況は、その神像が姿を現すまでは、ずっと続きそうな気がする。

---

## ■2学期のCP授業風景 第3弾

最終回は、月曜日の永田 靖 教授の『財務会計の基礎』と、細井 謙一 教授の『マーケティングの基礎』、水曜日の前川 功一 教授(学長)の『確率・統計の基礎』の授業風景をご紹介します。

【10月17日月曜日】 財務会計の基礎 講師:スポーツ経営学科 永田 靖 教授



【10月17日月曜日】 マーケティングの基礎 講師:経営学科 細井 謙一 教授



【10月19日水曜日】 確率・統計の基礎 講師:経済学科 前川 功一 教授(学長)



### ■3 学期の CP/CS 講座ラインナップ

キャリアアップ・プログラムには 3 つのレベルがあります。

エントリー(入門)科目	初めてチャレンジする分野のイメージをつかむ
ベーシック(基礎)科目	ビジネスの基本を再認識し基本をしっかり学び直す
ステップアップ(応用)科目	ワンランク上の自分になるためのひらめきをつかむ

現在、3 学期のキャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)の募集をしております。

講座名をクリックされますとシラバス(授業計画)が閲覧できます。

※受講料等の CP/CS の詳細は <http://www.hue.ac.jp/general/index.html> 『一般の方へ』からご覧ください。

※CP チラシに掲載してあります木曜日の『経営戦略論の基礎』講義は、講師都合により開講できなくなりました。

CP/CS 3 学期ラインナップ			
曜日	CP/CS	講座名	講 義 日(平成 29 年)
月曜日	CP	<a href="#">実戦ビジネス中国語会話</a>	1 月 16・30 日 2 月 6・13・20・27 日
	CP	<a href="#">マーケティング演習</a>	
火曜日	CP	<a href="#">日常生活を考える経済学入門</a>	1 月 17・24・31 日 2 月 7・14・21 日
	CP	<a href="#">証券投資理論の基礎</a>	
水曜日	CP	<a href="#">所得税法入門</a>	1 月 18・25 日 2 月 1・8・15・22 日
	CP	<a href="#">実践的広告戦略の基礎</a>	
	CS	<a href="#">台湾法史からみた「台湾のかたち」</a>	
木曜日	CP	<a href="#">ケースメソッドで鍛える経営構想力</a>	1 月 19・26 日 2 月 2・9・16・23 日
金曜日	CP	<a href="#">財務分析の基礎</a>	1 月 20・27 日 2 月 3・10・17・24 日
	CP	<a href="#">時代を読み解くための経済統計</a>	

### ■3 学期 キャリアアップ・プログラム 木曜日シラバスの紹介

【木曜日】 ケースメソッドで鍛える経営構想力

科目名	ケースメソッドで鍛える経営構想力	
副題	広い経営の視野を求められてきたあなたのために	
講義日	毎週木曜日 1/19、1/26、2/2、2/9、2/16、2/23…計 6 回	
対象者	会社の将来的な方向性について考えなければならない人、経営に関する新たな視点を求められている人、キャリアアップ・プログラムで学んだ知識を整理したい人	
到達目標	経営に関する知識を整理し、それぞれの位置づけと活かし方を、自分自身のなかで理解できるようになることを到達目標とします。	
概要	国内外のビジネススクールで採用されている講義形態のひとつがケースメソッドです。一方的に知識を取り入れる座学(インプット)とは異なり、自らの考えをまとめて言葉にする(アウトプット)ことで、知識を活用できるものにする教育方法です。本講座では 6 つの事例を題材に、「なぜ」「どのように」経営者は意思決定を下したのか。それは「正しかったのか」、「他にどのような選択肢があったのか」など、経営の視点から事例を分析して、議論を深めていきます。そうすることで、総合的な経営構想力に関する能力を高めていきます。	
授業内容	第 1 回	ビジネスと社会
	第 2 回	ビジネスにおける創造的破壊
	第 3 回	ビジネスの進化

	第4回	ビジネス・モデルの転換
	第5回	企業家精神とビジネス
	第6回	ベンチャービジネスの躍進
授業の形式	ディスカッション(演習)形式	
授業の進め方	ディスカッション形式。宿題あり。事前に配布されたケースを読んでいただきます。講義ではその内容を議論します。	
教材費などの追加負担	教材の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	ビジネスの世界は目まぐるしく変化し、新たな経営手法が次々と開発されています。ところが、こうした変化は表面的なものに過ぎず、本質的に重要なことは変わっていないことが多いのです。流行に振り回されない、本質的に重要なところをつかみにいくという姿勢でこの講義を進めていきたいと思えます。ケースメソッドは国内外のビジネススクールが、代表的なところではハーバード・ビジネス・スクールが採用している教育方法です。一般的な座学とは異なる「学び」を体験していただければと思います。	
講師紹介 (自己紹介)	山内昌斗 (やまうち まさと) 経済学部 経営学科 教授 専門は国際経営史。2005年神戸商科大学(現、兵庫県立大学)大学院経営学研究科修了。同年本学講師、2008年より准教授、2016年より教授。博士(経営学)。外資の対日投資、ローカル企業のグローバル化を研究テーマとしている。主な著書に『新グローバル経営論』(共著、白桃書房)、『日英関係経営史』(単著、溪水社)など。	

#### ■ひろしまカレッジ『大学で開講する公開講座』募集中！！

本学ではひろしまカレッジの受講生を募集しております。

教育ネットワーク中国と大学が連携して、大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に活かすことを目的に、社会人の皆様に学習機会を提供しています。日常の暮らしに生涯学習の時間を取り入れてみてはいかがでしょうか。

講座概要は [http://www.hue.ac.jp/lecture/extension/Hiroshima\\_college.html](http://www.hue.ac.jp/lecture/extension/Hiroshima_college.html)

先着順の受付ですのでお早めにお申し込みください。

#### ■経大見聞録

本学のHPに掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。URLをクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒープレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【11/9】広島ホームテレビ「Dr. キャンパ」にて「石野ゼミ サイクリスト支援システムの検証」を放送します

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000010301.html>

【11/9】アカデミック・コモンズ「明德館」が竣工を迎えました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/staff/news/meitokukan/0000010302.html>

【11/16】「第11回 祇園・興動祭 共創～みんなつながる地域のお祭り～」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000010305.html>

【11/17】学生FDプロジェクトが学生と教職員との意見交換会「しゃべり場」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000010308.html>

【明德館】学生たちの自由なアイデア創造空間「明德館」

<http://www.hue.ac.jp/50th/meitokukan/>

【明德館ブログ】

<http://blog.meitokukan.hue.ac.jp/>

【キャンパスライフ】

<http://www.hue.ac.jp/life/index.html>

【クラブサークル活動】

<http://www.hue.ac.jp/life/circle/index.html>

---

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までどうぞ。

**HUE** 広島経済大学  
**CAREER UP PROGRAM**